

令和4年6月24日（金）博物館地域説明会（南部公民館）

<質疑応答>

・質問者①

質問：今世界的にSDGSの流れですが、富士宮市はSDGSをどう考えていますか。

（一部省略）富士宮市には文化財が沢山あるとのことですが、隣接の富士市、静岡市と併せて一つの文化財の地区だと思えます。富士宮市だけを切り離して考えるのではなく、一帯となって説明しないと子供たちの理解が深まらないのではないのでしょうか。

富士市に今ある設備を充実させる、あるいは芝川の埋蔵文化財センターを廃止するのではなく拡充するのはどうでしょうか。

コロナ下で、子供たちは貧困にさらされています。博物館は本当に子供たちの未来のためになるのでしょうか。博物館の建設には反対です。

回答：富士宮市はSDGSを推進しています。（一部省略）富士、富士川と一体で説明しないと子供たちが分かってくれないとのことですが、もし博物館を建てた時に、富士・富士川を伝わって富士宮に来ているという説明も入れていきたいと思っていますし、富士宮を説明するにあたって、周りの自治体のことを省いて説明ということはできないと思いますので、必ず意識して説明していきます。

富士にある施設にお金をかけてはどうかとのことですが、かぐや姫ミュージアムに富士宮市の修験者の展示があります。これはそもそも村山の修験者のものであって、村山に住んでいた方が富士市に行って、ちゃんと展示ができるような所だから富士市にお預けするということだと思います。もし富士宮に博物館があれば、きっと富士宮でこれを展示し大切に保管していたと見えています。

子供の貧困については、博物館と切り離して考えなければいけないと思います。今の子供たちの貧困のケアとは別に、博物館は将来富士宮市に誇りを持ち、富士宮市に帰って来る、または応援してくれるような人材を育てるための投資だと思っています。

（一部省略）

質問：私が言いたいのは、20億というお金を使うなら未来を担う子供たちがかわいそうだから、まずそっちへ資金配分をしたらどうか、そのためにはこの博物館計画はやめたほうがいいのかではないんですか。

回答：博物館を作ることと、先ほどおっしゃられていること（子どもの貧困等）は対立することでも何でもないと思います。お金をすべてそちらに投入するというのであれば別の方法もあります。

質問：埋蔵文化財センターを廃止して、博物館の候補地に三つの地域が挙げられていますが、せっかく公園としていいところだなと思っている場所をつぶすとなるとこれもまた

自然破壊につながるのではないですか。(一部省略)

回答：我々は博物館で人材を育てていきたいと思っておりますので、(子どもたちに関する他の問題で) 反対だとおっしゃられても、我々と話がかみ合わないと思います。

質問：私は反対だと言っているだけです。

かみ合うとかかみ合わないとか、かまいません。

・質問者②

質問：私は賛成です。こういう施設を作っていただきたいと思い、今日伺いました。色々要望がありますが、紙に書いて受付に出しましたので、ぜひ検討していただきたいと思っています。

一点だけお願いしたいのですが、歩く博物館の中に防災のことも一部書かれているのですが、黒田星山地区の星山放水路については載っていないのではないのでしょうか。

回答：今、歩く博物館に星山放水路のことは紹介されていません。

質問：そのような防災施設を歩く博物館にぜひ入れてほしいと思っています。それ以外にも富士宮には潤井川の上流に砂防ダム、大沢崩れに砂防ダム、芝川の上流の防災ダムといった大規模な防災設備があるのですが、そのような施設を歩く博物館に入れて、博物館の中にも防災コーナーを設けて欲しいという要望です。

回答：今おっしゃられたことは、私どももこれから意識していかなければ(ならない) と思い、今進めている市史編纂事業の中では触れていきたいと思っています。まだまとまっていないのですが、これから取り組んでいきたいと思っておりますのでまたご意見いただければありがたいです。

・質問者③

質問：かなり幅広い活動を想定されているようなのですが、できあがった後の運営費や、組織にかなりの人員が必要になってくると思うのですが、見込みはどのようなのでしょうか。

回答：どのくらいの頻度で(学習会等を)やるのか、(施設・設備の)面積によっても変わりますし、学芸員をどの程度配置するのかはこれから検討していく課題です。

ただ昨年度の検討委員会の中では、(委員の)先生方から学芸員の充実を図るように何度も念押しをされております。そうはいつでも財政状況の中で許される範囲で、あるいは博物館の運営そのものに影響するような状況になると困りますので、そこはバランスを取りながらできる限り人・環境の充実を図っていききたいと思っています。今の段階では具体的にお応えできる状況ではありませんが、できるだけ確保はしていきたいと思っています。

・質問者④

質問：展示内容の具体的な明細は今後公開されるのでしょうか。

あるとすれば事業スケジュールの具体的にどの段階で行われるのでしょうか。

回答：今回策定した基本構想はまだ市の中の意見を取りまとめた段階です。

具体的な展示内容等は今後、スケジュールの中の『基本計画の策定』で検討し、市民の皆様の説明する機会を設け、その中で説明させていただくように考えています。

・質問者⑤

質問：入館料は取りますか。

回答：まだ決めていませんが、ほかの博物館の事例を見ると、入館料はほとんど収入としては見込めない状況です。

美術館、水族館、動物園は比較的高額な入場料をいただくことが多いのですが、博物館はできるだけ多くの人々に文化財を見ていただく機会を保障するということで安い金額になっています。もとをとれる金額ではありません。

無料という考え方もありますし、いくらかでも頂いた方が見る人の真剣味が違うという、どちらの考え方もあります。いずれにしても頂くのか頂かないのか、頂く場合は減免をどうするのかという事についてもこれから検討していきたいと思っています。